

令和6年2月7日

生徒のみなさん
保護者のみなさま

大阪府立山田高等学校
校長 佐々木 啓

令和5年度学校教育自己診断の結果と分析（令和5年12月実施）

「令和5年度学校教育自己診断アンケート」に回答いただいた生徒の皆さん、保護者の皆様にお礼申し上げます。アンケート集計結果の概要、結果にもとづく分析と今後への課題等を下記のとおり報告いたします。質問項目ごとの集計結果を、生徒用・保護者用・教職員用とあわせて本校学校ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。（メニュー「情報公開」→「学校教育自己診断」と進んでください。）

今後とも、みなさまからの貴重なご意見を本校の教育活動に活かしてまいりますので、来年度もアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

※()内の数値は肯定的回答（「A よくあてはまる」と「B ややあてはまる」の割合の合計）

【全体概況】

（生徒アンケートより）

全ての項目において、肯定的な回答が75%を超えている。そのうち、学級・学校生活の満足度(95.3%、94.1%)、授業におけるICT活用について(99.0%)、教員の学習評価について(93.8%)、体育祭・文化祭について(94.3%)、クラス活動について(92.0%)、いじめ等の未然防止(93.3%)、ICT活用の指導について(94.6%)、人権学習について(92.5%)、個人情報・プライバシーの保護(97.0%)、進路情報の提供および進路学習について(96.6%、97.0%)、奨学金情報の提供について(92.5%)、施設の教育環境(93.8%)、感染症対策(92.7%)、学校WEBページの充実(91.2%)、そして生徒自身の学校行事への取り組み(94.1%)、規律の遵守(95.9%)など肯定的回答がいずれも90%を超えていることから、大部分の生徒にとって安全で安心な高校生活が実現できており、教員の指導に対する納得度、学校生活への満足度が、昨年度よりさらに高くなっていることが読み取れる。

（保護者アンケートより）

残念ながら、回収率が昨年度の71.4%から、70.9%と下がった。保護者のみなさんにとって、多忙な年末の実施であったこと、学校の教育活動についてはよくわからないから回答できないという保護者が多いかもしれないとも推察されるので、教育活動についての積極的な情報発信にさらに努めるとともに、実施時期も検討したい。

学校生活について(92.9%)、学習評価(91.1%)、学習内容等の情報提供(89.3%)、ICT活用(81.3%)、体育祭・文化祭について(96.8%)、保護者の相談対応(84.6%)、いじめ等の未然防止(85.8%)、生活・学習規律について(85.3%)、進路指導について(82.7%)、社会のルールや人権尊重の教育について(86.5%、85.0%)、プライバシーの保持(96.1%)、災害等緊急時の対応について(85.1%)、授業参観や学校行事への参加(80.0%)、感染症対策(83.5%)、学校ホームページでの情報発信(87.2%)など肯定的回答がいずれも80%を超えていることから、保護者にとっても、生徒が安全で安心な高校生活をおくっていることを実感してもらっていると思われる。「授業・学習指導」については、生徒の満足度と保護者の肯定的回答に開きがあることは近年の課題となっている。新しい学習指導要領に基づく評価については、入学当初に保護者への説明に努めたが、学習内容や評価について、保護者はどこまでの情報提供を望んでいるか、生徒が家庭で保護者に伝えているかなどを分析して、改善に努めていきたい。

PTA活動については、「参加したことがあるか」から、「学校のPTAがどのような活動をしているか知っている」とPTA活動の認知度を問う質問に変更したが、残念ながら否定的回答の方が多かった。学校とPTAが連携して、PTA活動の充実とさらなる周知に努めていきたい。

(教職員アンケートより)

教職員アンケートについては、近年肯定的回答率が高かった項目を中心に質問を精選した。「よくあてはまる」という肯定的回答が大幅に増えた昨年度より改善している。肯定的回答割合が高くない項目は昨年度と同様に「学校運営」・「組織力」の分野となっている。生徒・保護者の高い満足度は、日ごろの教職員の努力によって支えられている。教職員の多忙感を払拭することは難しいが、組織としてのチームワークの強化、問題意識や悩みを気軽に相談し合えるような時間と余裕を確保するように努めていきたい。

その他分野別に担当部署ごとに分析と総括を行った。

【授業・学習・評価】 (教務部)

- ・保護者の「学習の内容や進捗等を、懇談や通信などによって知ることができる」の肯定的回答が高くないことについては、学習の内容や進捗等を保護者が知りたいと考えておられるのかわからないが、要望があれば方法を検討することは有意義である。
- ・「先生は、子どもの学力や達成度をわかりやすく説明してくれている」については、担任が全ての科目について、生徒ごとの達成度を把握して説明するのは困難なので、学期末に配付する通知票で十分であると考えている。通知票の見方については説明する機会をつくっていきたい。

【生徒指導】 (生徒指導部)

- ・生徒の「学校生活についての先生の指導は納得できる」については、学年が上がるにつれて肯定的回答が上昇している。指導が定着したか、指導される機会が減ったことが原因と思われる。肯定的回答の割合が高いから指導ができているとは限らず、必要なのに指導しない教員がいるとすれば、指導の温度差が生徒の不満の要因にならないように、指導の統一化を図ってゆきたい。
- ・生徒の「服装、髪型など学校規律については指導を守っている」については、昨年度と同様に、肯定的回答が圧倒的多数であるが、教員の認識との間にずれがある。学校規律を大きく捉えているが、「服装」「交通マナー」など項目を分けてみると違った結果が得られるかもしれない。

【進路指導】 (進路指導部)

- ・保護者の「学校は、進路指導面で家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。」については、進路指導部では、メールマガジン等も活用して、積極的な情報提供に努めているので、肯定的回答はもっと高くてもよいはずであると考えている。生徒がより良い進路選択ができるように行っているキャリア教育の取り組みについては、担任以外の教職員にも内容を周知していきたい。

【教育環境】 (保健部)

- ・相談体制についての生徒の肯定的回答率は年々上昇している。「全くあてはまらない」という回答も若干あるので、「保健だより」や掲示などで教育相談体制の広報を強化していきたい。

【生徒会活動】 (生徒会部)

- ・生徒・保護者ともに、「学校行事・生徒会活動・部活動」についての肯定的回答率は高いので、今後もこの状況を維持できるようにしていきたい。

【生徒・保護者の意識について】 (各学年)

- ・保護者の「学習の内容や進捗等を、懇談や通信などによって知ることができる」の肯定的回答が低いのは、小・中学校までと同様の情報提供が学校からあると期待されているのかもしれないが、高等学校でこの質問項目が適切かどうかについては検討してほしい。
- ・生徒の学校生活への満足度が高いことは嬉しく思う。生徒と教職員が同じ方向を向いて取り組んでいる成果だと思う。
- ・生徒は学校で頑張っているのに、家族では弱音を吐きたいこともあるかもしれない。できるだけ子どもの話に耳を傾けて励ましてあげる時間をつくってほしい。